



夏休みは図書館へ!

あっという間に夏休みがやってきます。
図書館は夏休み期間中も開館しています。講習や部活の合間に図書館を利用してください。自分の時間が作れますよ。

夏の10冊貸出はじまります!



★期末考査最終日の7/6(木)～8/25(金)
ひとり10冊まで貸出します。

★夏休みは、涼しい図書館で自習しましょう!

図書館カレンダー

★開館時間 月～金曜日 8:40～16:50

★夏休み中の閉館時間は図書館入口に掲示します。

7月						
日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日本語ワープロ検定試験・
情報処理技能検定試験の
テキストがそろいました!

- ★日本語ワープロ模擬問題集 3.4級編
- ★日本語ワープロ模擬問題集 2.準2級編
- ★表計算模擬問題集 3.4級編
- ★表計算模擬問題集 2.準2級編

読書感想文に チャレンジしませんか?

青少年読書感想文全国コンクールの課題
図書がそろいました。この夏、チャレンジし
てみませんか?



- ★「ラフカは静かに弓を持つ」
/安壇 美緒/集英社
- ★「タガヤセ!日本:「農水省の白石さん」
が農業の魅力教えます」
/白石 優生/河出書房新社
- ★「昆虫の惑星:虫たちは今日も地球を回す」
/アンヌ・スヴェルトツプ=ティーゲソン
/辰巳出版

夏休みおすすめ本



頭の良い人がやっている「調べ方」究極のコツ

/齋藤 孝/学研プラス

「調べ方」が身につくと、正しい事実に基づいた判断が下せる。リスクから身を守ることができる。信頼の高い情報発信ができる。問題を解決する力が身につく。何より、「調べて、わかる」ことはとても楽しい！ぜひ、この本で調べ方のコツや注意点を学んで、勉強、生活に活用してみてください。

なぜ親はうるさいのか

/田房 永子/筑摩書房

「なぜ親はうるさいのか？」永遠のテーマですね。この本では、中・高生の時の私、成人して客観的に親をみれるようになった私、結婚して親になった私、の3つの視点から、口を出さざるを得なかった親の立場を徹底的に究明した本です。みなさんの年齢では理解できないことも、この本を読めば、ちょっと歩み寄ろうという気持ちになりますよ。

魔女のいる珈琲店と4分33秒のタイムトラベル

/太田 紫織/文藝春秋

陽葵（ひまり）が通学路で出会ったおばあさんに教えてもらった喫茶店。そこは、過去に戻り後悔している瞬間をやり直せるお店だった。やり直しのチャンスは、珈琲をいれる4分33秒の間だけ。陽葵は、後悔を抱える人々のさまざまな4分33秒を見届けることになるのだがー。札幌の珈琲店を舞台に“時を渡す”店主と心に傷を負った少女が織り成す物語です。

ハリネズミは月を見上げる

/あさの あつこ/新潮社

高校2年生の鈴美は、小学生の時クラスメイトに陰口を言われて以来、学校では“控えめで、おっとりして、ちょっと天然入っている女の子”というキャラを演じている。ある日、登校途中の電車で痴漢にあい、困っていたところを助けてくれたのが、同級生の比呂だった。お互い自分がないものを持っている二人は、いつしかかけがえのない友人となっていく。

奇妙な漢字

/杉岡 幸徳/ポプラ社

実は私たちが日常生活で使っているのは、漢字のごく一部。世界には、普段は目にする事のない、奇妙な漢字がたくさん存在しています。この本には、そんな見たこともない468の漢字が紹介されています。どれもすごいインパクトとビジュアルで、その存在はもはやアートのような。ページをめくるのが楽しい一冊です。

新しいキャンプの教科書

/STEP CAMP 監修/池田書店

キャンプと言えば、日常とは違う野外での生活。自然にふれ、家族や仲間との共同作業の楽しさがあります。必要最小限の道具で作る食事は格別で、実際よりもおいしく感じるものです。そして、キャンプのスキルは生きるスキルに直結します。「いざという時」は来てほしくありませんが、キャンプのスキルは役立ちます。この夏楽しみながら挑戦してみませんか。

ゴリラ裁判の日

/須藤 古都離/講談社

アフリカのジャングルに育ったゴリラ・ローズは、研究者から手話を学び、言葉を習得。やがてアメリカの動物園に受け入れられるが、人間の子どもの助けるために夫・オマリが射殺されてしまう。納得のいかないローズは、動物園を相手に裁判を起こすのだが…。波乱万丈のローズの半生が描かれています。ラストの裁判の行方はハラハラドキドキです。

成瀬は天下を取りに行く

/宮島 未奈/新潮社

成瀬あかりは中2年の夏、友人の島崎に突拍子もないことを告げる。閉店する西武大津店での夕方の情報番組に、毎日通うという。さらに、M-1に挑み、高校入学時には実験と称し髪を丸坊主にしてしまうのだ。とにかく一直線に進む成瀬と、つかず離れず支える幼なじみの島崎のコンビが羨ましくなる青春小説です。もう、成瀬から目が離せない！